

日頃の備えと早めの避難

土砂災害から身を守るために

問い合わせ 総務課 ☎2119



命を守るために知っておくべき3つのポイントを紹介します。

広島県は、土砂災害の危険箇所が日本で一番多い県です。いつでも土砂災害が発生しても不思議ではありません。これから雨季になり、雨が降る日が増えてきます。雨により地盤がゆるむことで、土砂災害発生危険性が高まります。また、地震により地盤が不安定になり土砂災害が発生することもあります。4月に発生した熊本地震でも、土砂災害により多くの尊い命が奪われました。日頃から土砂災害の発生に備え、常に身を守ることを考えておきましょう。

ポイント1
住んでいる場所が「土砂災害危険箇所」や「土砂災害警戒区域等」内に立地しているかどうか確認

まず自宅がどのような場所にあるかを知りましょう。大竹市土砂浸水避難地図（ハザードマップ）や広島県のホームページ（広島県防災WEB↓土砂災害ポータル）で、お住まいの地域に土砂災害の危険性が高い場所（土砂災害警戒区域など）があるか調べることができまますので、事前に確認しておきましょう。

ポイント2
大雨が降り続いたら土砂災害警戒情報に注意

土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害の危険度が高まったときに、県と気象庁により共同で発表される防災情報です。大竹市に土砂災害警戒情報が発表された場合には、テレビやラジオの放送、また市の防災行政無線、携帯電話の緊急速報メールなどお知らせします。



ポイント3
土砂災害警戒情報が発表されたら早めに避難

土砂災害警戒情報が発表されたら、市が避難に関する情報や勧告を発令する場合があります。特に土砂災害の危険性が高い地域にお住まいの方は、早めに近くの避難所など安全な場所に避難しましょう。もしも逃げ遅れた場合は、無理に屋外へ避難せず、自宅の安全な場所にとどまることも必要です。

市が避難に関する情報を発令するときには、土砂災害警戒情報に併せて「土砂災害危険度情報」を参考にしています。

「土砂災害危険度情報」は、大竹市を5キロメートル四方で8つのエリアに分け、エリアごとに危険度を色分けして表示するもので、NHKのデータ放送や広島県のホームページ（広島県防災WEB↓土砂災害ポータル↓土砂災害危険度情報）で確認できます。大雨の時には自分の住む地域が危険な状況になっていないか十分に確認しましょう。お年寄りや障害のある方など避難に時間のかかる方は、隣近所や地域で助け合い、特に早めの避難を心がけましょう。



災害時「福祉避難所」の協定を締結しました

災害時に高齢者や障害のある方など、避難場所での生活において、特別な配慮が必要な方が避難できる福祉避難所として、地域密着型特別養護老人ホーム「紀の川」を指定し、平成28年4月27日に、社会福祉法人創造と協定を締結しました。